学校番号	104

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院） 「世界史重要語句 Check List」（啓隆社）「世界史用語集」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史への興味、関心を持つ。
・歴史的なものの見方、考え方を身につけようとする姿勢で学ぶ。
・世界史的視野から中世以降の歴史と現代社会の諸問題に対する理解に繋げる。

2　学習の到達目標

・問題演習を通してこれまで学習してきた内容についての理解を深め、世界史に関する通史的な知識を身に付ける。
・身に付けた知識を活用して、世界史的視野をもって多角的に歴史事項を考察できる歴史的思考力を養う。
・歴史に学ぶ姿勢を培い、今日の国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
・世界における日本の歴史に対する意識・関心と問題意識を高め、主体的に学ぶ姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	歴史的事柄について時代背景を踏まえて考察し、客観的・公正に判断して、自分の主体的意見を構築し適切に表現する力をもつ。	世界史の展開に関わる諸事象についての学習を通して、よりよい社会の実現を視野に入れ、自ら発見した課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される社会の構成員としての自覚や、あらゆる地域の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近世・近代	＜近世の形成と発展＞ ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の成立 ＜近代世界の形成と発展＞ ・近代国民国家の形成 ・アジア諸国の動揺 ・帝国主義と世界分割 ・中国分割と アジアの民族運動	a: 近世主権国家の形成・発展とアジア世界の動揺を対比して、その過程について理解し，知識を身に付けている。 b: 近世主権国家の形成・発展とアジア世界の動揺を対比して、その過程について多面的･多角的に考察し，適切に表現している。 c: 近世主権国家の形成・発展とアジア世界の動揺を対比して、その過程について，意欲的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 論述課題	振り返り プリント
	近代	＜二つの大戦＞ ・第一次世界大戦前後の 国際関係 ・第一次世界大戦と ロシア革命 ・ヴェルサイユ体制 ・アジア･アフリカの民族運動 ・世界恐慌と ファシズムの台頭 ・第二次世界大戦	a: 二つの大戦と戦間期におきた歴史事象について理解し，知識を身に付けている。 b: 二つの大戦と戦間期におきた歴史事象について多面的･多角的に考察し，適切に表現している。 c: 二つの大戦と戦間期におきた歴史事象について，意欲的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 論述課題	振り返り プリント
2	現代	＜戦後史＞ ・戦後の国際政治と冷戦体制 ・戦後のヨーロッパ諸国 ・戦後のアジア諸国と 第三世界の自立 ・米ソの動揺と 国際経済体制の転換 ・冷戦の終結と 社会主義国の解体 ・現代の世界	a:第二次世界大戦後の世界情勢から現代社会形成の背景を概観し、その過程について理解し，知識を身に付けている。 b: 第二次世界大戦後の世界情勢から現代社会形成の背景を概観し、その過程について多面的･多角的に考察し，適切に表現している。 c: 第二次世界大戦後の世界情勢から現代社会形成の背景を概観し、その過程について，意欲的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 論述課題	振り返り プリント

3	問題演習	総合問題演習	a:各単元における基本的事柄を理解し,事象を表現・処理することができる。 b:各単元における歴史的な見方や考え方を身に付けている。 c:世界の歴史に関心をもち，その有用性を認識している。歴史上の問題解決の過程について考察を深め，評価・改善しようとする。	問題演習	論述課題	振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度